

2019年度就職先へのインタビュー調査結果

本学卒業生の主要な就職先である10法人(企業分野5法人、福祉分野5法人)に対して、「学修到達レポート」(学生ごとの学修成果と到達度を提示する書類)のサンプルを示し、以下の4点についてインタビューしました。

- ①採用側として、新卒学生一般に対して一番求める資質
- ②勤務に際して、本学出身学生に何か特段の傾向があるか。(積極的評価、否定的評価)
- ③就職活動で学生が「学修到達レポート」を提出した場合、採用活動時に参考にするか。
- ④この学修到達レポートに盛り込んだほうがよい項目、内容があるか。

以下にその結果について報告します。

| No. | インタビュー先 | 採用側として、新卒学生一般に対して一番求める資質 | 勤務に際して、本学出身学生に何か特段の傾向があるか。(積極的評価、否定的評価) | 就職活動で学生が「学修到達レポート」を提出した場合、採用活動時に参考にするか。 | この学修到達レポートに盛り込んだほうがよい項目、内容があるか。 |
|-----|---------|--|---|---|--|
| 1 | 社会福祉法人 | コミュニケーション力、責任感 人を相手とする仕事のため、いかなる場面でもコミュニケーション力は必要になる。それと同じくらい責任感も必要。人の命を預かる仕事のため、仕事に対しての責任感も重要。 | 全体的に真面目に長く勤務する人が多いように思う。 | 参考にしたい。 | |
| 2 | | コミュニケーション力 対人の職種のため、利用者に対して、また、職員間の連携のためにコミュニケーション力は必要。 | 傾向があると感じたことはない。個々に個性を活かし頑張っている。 | あれば参考にしたい。 | 評価基準が明確に示されると分かりやすい。 |
| 3 | | 就労意識 知的障害者に対する支援が仕事であるとの意識を常に持てる(プロフェッショナルである)ことを求める。障害・個性を持っている個々の利用者に様々なアプローチを考え、試み、真に必要としている支援を見つけるため実践し、利用者の自立(自己決定)を支えるという考えが必要。 | 社会福祉士等の国家資格を取得して相談業務の職種を希望する卒業生がいるが、相談業務には様々な障害福祉サービス事業所等での現場業務経験を積むことが必要であることを認識してほしい。 | 参考にしたい。 | 特になし。 |
| 4 | | 協調性 福祉を仕事とする上で、チームとして取り組んでいくことが多くある。チームとして考えることや、協力し合える気持ち・志が求められる。 | 基礎学力や専門知識を持っている人が多く、役職を任されている卒業生が多くいる。特にチームアプローチを進める上で一番重要なポジションを務め、法人の将来を担う存在である。 | 参考にしたい。 | |
| 5 | | リーダーシップ これからの福祉業界で最も重要なのは、現場職員に対する「マネジメント」である。福祉現場に対するブラックなイメージを払拭し、ホワイトな職場に変えるために必要不可欠であり、またそれを通して新たな人材確保が実現できるようになる。 | 福祉に対して前向きなイメージを持って入職しているため、現場で即戦力になっている傾向がある。また、リーダーシップを発揮する人が多い。 | 参考にしたい。 | 学生個々のデータとの比較対象として、前年度や今年度などの母集団(同年代の全国平均等)の平均値が盛り込まれると、さらに採用時の参考になる。 |

| No. | インタビュー先 | 採用側として、新卒学生一般に対して一番求める資質 | 勤務に際して、本学出身学生に何か特段の傾向があるか。(積極的評価、否定的評価) | 就職活動で学生が「学修到達レポート」を提出した場合、採用活動時に参考にするか。 | この学修到達レポートに盛り込んだほうがよい項目、内容があるか。 |
|-----|---------|--|---|---|--|
| 6 | 民間企業 | 就労意識 その意欲がなければ接客時の態度に出る恐れがあるため。 | 在職している卒業生は、非常にまじめで、コミュニケーションもとれ、理想的な人物である。 | あれば参考にしたい。 | |
| 7 | | コミュニケーション力、基礎学力、主体性、協調性、責任感、論理性 感覚も大切だが、周囲からの刺激を受け入れ、論理的に課題を発見し、学び続けることが大切。 | 明るい卒業生が多い。どれほどビジネスマインドを持ち合わせているかは、個々に差がある。 | 参考にしたい。 | |
| 8 | 民間企業 | コミュニケーション力 接客業務においても、他の社員との連携においてもコミュニケーション力は基礎となる。 | 素朴で素直、えらぶらない印象。のんびりした卒業生が多い。 | 参考にしたい。 | |
| 9 | | 主体性 与えられた仕事をするのが当たり前な社会の中で、弊社はさらに自分から仕事を取りに行く社風がある。それと同時に協調性も大切な資質。 | 二分化している。 店長以上に昇格している人は積極的に主体性をもって事にあたるが、反面、受動的な人は成長が遅く、自己変革に至らない場合もある。 | 参考にしたい。 | 学生がどのような努力を積み重ねてきたかを大切にしているため、何をなしたかよりも、そのためにどんな努力をしてきたかのストーリーを知りたい。 |
| 10 | | コミュニケーション力 サービス・接客業には欠かせない資質。 | 特段の傾向はない。 | よくわからない。 | 特になし。 |



日本福祉大学 学修到達レポート

1. 基本情報

フクシ タロウ
福祉 太郎

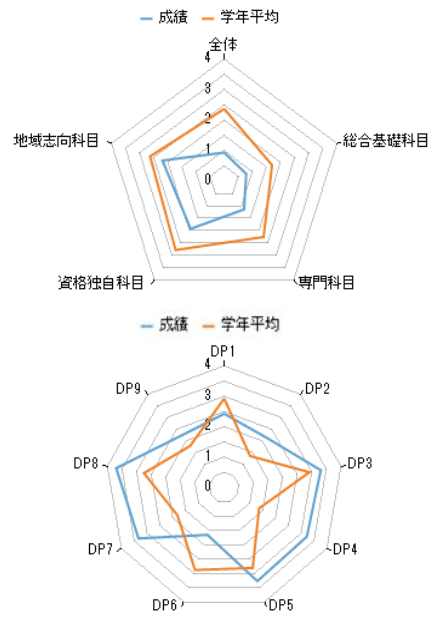
| | | | |
|------|----------|----|------------|
| 学籍番号 | 99FG9999 | 学部 | 社会福祉学部 |
| 入学年度 | 2017 | 学科 | 社会福祉学科行政専修 |

2. 正課活動の成果

| | | | | |
|----------|-----|----|-----|------|
| 総取得単位 | 116 | 単位 | GPA | 0.68 |
| 卒業論文テーマ | | | | |
| 取得(見込)資格 | | | | |

| 科目群ごとのGPA | | |
|-----------|----|------|
| 科目群名 | 個人 | 学科平均 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| ディプロマ・ポリシー (DP) ごとのGPA | | |
|------------------------|----|------|
| ディプロマ・ポリシー (略称) | 個人 | 学科平均 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |



社会福祉学部 社会福祉学科行政専修のディプロマ・ポリシー

3. 正課外活動の成果

| | |
|--------|--|
| 所属サークル | |
| ボランティア | |
| 特記事項 | |

4. ジェネリックスキル・語学力等

コンピテンシー

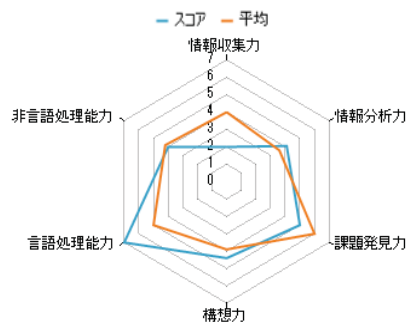
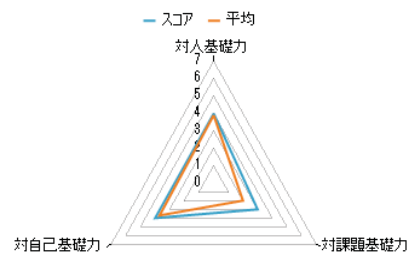
| 分類名 | スコア | 平均 |
|-----|-----|----|
| | | |
| | | |
| | | |

リテラシー

| 分類名 | スコア | 平均 |
|-----|-----|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

語学力 英語能力

その他



5. 総評

総評の記入欄

ゼミ科目担当教員

教員 太郎

発行日 2018年4月18日

学長 児玉 善郎

